

次期 SIP ターゲット領域有識者検討会議の設置について

令和 3 年 1 0 月

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局

(令和 3 年 9 月 30 日 ガバニングボードにて設置を決定)

1 設置目的

次期 SIP の課題設定に向けて、Society 5.0 によって我が国が中長期で実現（2050 年を視野に入れつつ、2030 年頃に具現化するもの）を目指す将来像を踏まえ、ターゲットとすべき領域を検討し、提言を行うことを目的とする。

戦略的イノベーション創造プログラム運用指針（最終改定：令和元年 6 月 2 7 日改正）において、S I P の推進上必要な詳細事項に関しては、内閣府において定めることとしている。このため、本年末に向けた課題候補の選定、来年度からの各課題候補に係る PD 候補の元での FS の実施に向けて集中的な検討を行うために、ガバニングボードのもとに本検討会を設置することとする。

2 検討課題

(1) Society 5.0 によって我が国が中長期で実現を目指す将来像

- ・第 6 期科学技術・イノベーション基本計画のコンセプト
- ・我が国や世界を取り巻く社会課題
- ・Society 5.0 関連技術の動向
- ・Society 5.0 の実装の仕組み

(2) 次期 SIP のターゲット領域の検討

- ・Society 5.0 の実現に向けた社会システム構築のビークルとなるもの
- ・省庁、産学官の垣根を越えて叡智やリソースを結集して取り組むべきもの
- ・社会実装に向けて技術開発だけでなく、標準化、制度・システム改革、ビジネスモデル構築など一貫した取組を行うべきもの

3 構成員（別紙 1）

- ・アカデミア、産業界、政府系機関、CSTI 等の有識者
- ・事務局（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局 SIP/PRISM 総括担当）

※課題候補の枠組みが固まったところで、当該課題候補に関連する省庁にオブザーバ参加いただく。

4 スケジュール（別紙 2）

- 令和 3 年 10 月 第 1 回（キックオフ）
11 月 第 2 回（検討）
12 月 第 3 回（中間報告）
(12 月 ガバニングボードでの課題候補の選定)
令和 4 年 3 月 第 4 回（最終報告）
(4 月頃 ガバニングボードでの PD 候補の選任、PD 候補のもとで FS スタート)

次期 SIP ターゲット領域有識者検討会議 構成員名簿

○ 構成員

- 赤池 伸一 文部科学省科学技術・学術政策研究所 上席フェロー
内閣府科学技術・イノベーション推進事務局 参事官
- 五十嵐 仁一 一般社団法人産業競争力懇談会 実行委員長
ENEOS 総研株式会社 代表取締役社長
- 小川 尚子 一般社団法人日本経済団体連合会 産業技術本部 副本部長
- 金田 安史 国立大学法人大阪大学 理事・副学長
- 川上 登福 公益社団法人経済同友会 幹事
株式会社経営共創基盤 共同経営者（パートナー）マネージングディレクター
- 岸本 喜久雄 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
技術戦略研究センター センター長
- 倉持 隆雄 国立研究開発法人科学技術振興機構
研究開発戦略センター 副センター長
- 坂田 一郎 国立大学法人東京大学 総長特別参与 大学院工学系研究科教授
- 篠原 弘道 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員
- 須藤 亮 内閣府 政策参与・SIPプログラム統括
- 橋本 和仁 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員
- 宮澤 伸 日本商工会議所 地域振興部長

(敬称略、五十音順)

次期 SIP ターゲット領域有識者検討会議の進め方について

(10月21日(木) SIP ガバニングボード：次期 SIP に向けた制度・運用面の課題整理)

第1回(キックオフ) 10月28日(木) 13:00~15:00

(1) 目指すべき将来像やその実現方策

- 第6期基本計画などでの Society 5.0 が目指す将来像
- その実現に必要とされるシステム・制度改革
- Society 5.0 に向けた技術開発の動向

(2) 次期 SIP の課題設定に向けた枠組みの整理

- 課題の立て方及び課題間の連携体制
- 社会実装に向けて SIP 期間中に求められるゴール及び SIP 終了後の推進体制
- SIP の仕組みを生かすための課題設定のあり方

第2回(検討) 11月17日(水) 14:00~16:00

(1) Society 5.0 で目指すべき将来像の実現に対し次期 SIP の枠組みをどう生かすか

(2) 次期 SIP の枠組みを踏まえ次期 SIP でターゲットとすべき領域の全体像、個別領域の素案

(11月25日(木) SIP ガバニングボード：次期 SIP 制度設計の基本方針決定)

第3回(中間報告) 12月15日(水) 15:00~17:00

(1) 次期 SIP でターゲットとすべき個別領域の具体案：出口イメージ、府省連携の体制、PD に求められるスキル

(2) RFI に向けた次期 SIP の課題候補案の示し方：大学ベンチャー等から幅広くかつ的確な情報提供が得られるための課題候補案をどう記載するか。イメージ図なども検討。

(12月23日(木) SIP ガバニングボード：次期 SIP 課題候補の決定)

第4回(最終報告) 来年3月頃

(1) 各課題候補に対する RFI 等での情報提供のマッピング

(2) RFI 等を踏まえた課題候補の括り方の再整理

(3) 次期 SIP を Society 5.0 の実現に向けたフラッグシッププログラムとして機能させるための提言

(来年4月頃 SIP ガバニングボード：PD 候補の選任、PD 候補のもとで FS スタート)